

「美しい横浜港」への第一歩を 踏み出します

～3つのプロジェクトをキックオフ～

港横浜(みなとよこはま)

現在、横浜の経済活性化に向けた横浜港のハブポート化を目指しています。

横浜港の魅力はそれに加え開港以来の歴史、文化、市民の皆様の海づくりの継承が行われており美しい横浜港への可能性を秘めていることです。

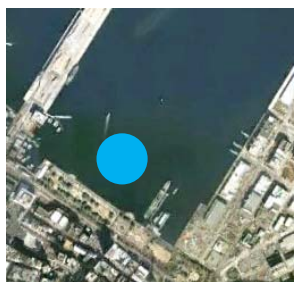
今回、水環境の向上、海づくりに市民全体で取り組むことで、「美しい横浜港」への第一歩を踏み出します。

美しい横浜港とは景観、にぎわい、水環境の3つの要素が組み合わせられうまれるもの。

臨海部の再生モデルとなる**3つのプロジェクト**を平成23年度からスタートします。

市民の皆様、企業の皆様といっしょに環境都市横浜にふさわしい美しい横浜港を創造します。

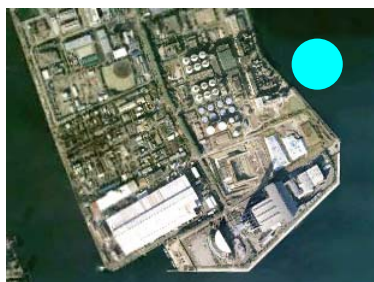
横浜市長 林 文子



山下公園前



野島海岸



末広地区

「美しい横浜港」への第一歩



お問い合わせ先

環境創造局 企画課長 緒賀 道夫 Tel 045-671-2686

環境創造局 環境科学研究所 担当課長 池見 好昭 Tel 045-752-2605

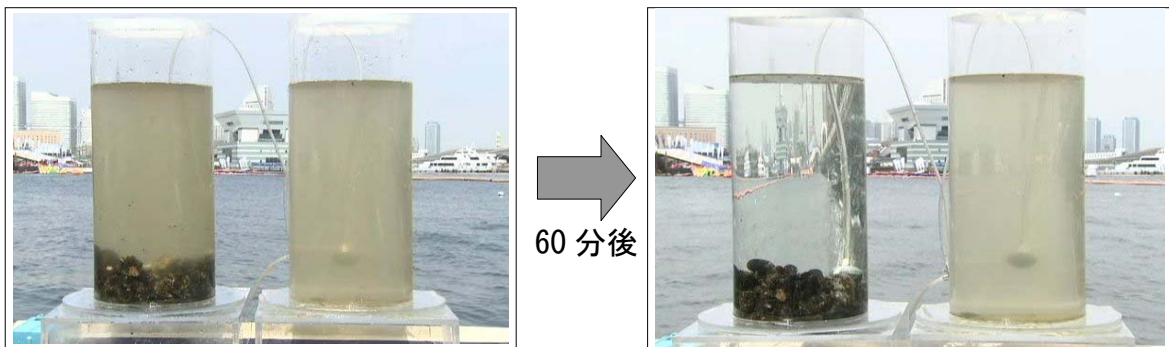
裏面あり

3つのプロジェクトの概要

1 山下公園前水質浄化プロジェクト

～世界トライアスロン選手権が開催される山下公園前での浅場を活用した水質浄化～

- ・山下公園前の浅場を活用し、海藻、貝類、魚類などを呼び戻し、「豊かな生物多様性の海」を実現することにより、水質浄化を図ります。
- ・これにより、今後も継続的にトライアスロンが開催されるよう、また、多くの方々が海を身近に感じ、それを体感できるような取組につなげていきます。



貝類による水質浄化の実験

2 野島海岸白砂青松の海プロジェクト

～横浜で唯一の自然の砂浜である野島海岸の再生に向けた取組～

- ・野島海岸は、横浜で唯一の自然の砂浜ですが、継続した砂の流出による規模の縮小、アオサの漂着による利用上の問題などが発生しています。その一方で、野島海岸付近では、海岸清掃や野島水路におけるヨシの植え付け等が行われており、これらの多様な市民活動が海域浄化に大きく貢献しています。
- ・歴史景観をつくり出している「旧伊藤博文金沢別邸」と連携した、白砂青松の海への再生を進め、金沢区を海づくりの市民活動のメッカとして盛り上げていきます。

3 京浜の森と海づくりプロジェクト

～末広地区での「京浜の森と海」づくりに向けた取組～

- ・鶴見区末広地区では、現在、企業の方々などとの連携により、「京浜の森づくり」として、ビオトープの創出や「トンボはどこまで飛ぶかプロジェクト」などに取り組んでいます。
- ・この地区に位置する北部下水道センター脇の礫の浜を、渡り鳥の営巣地や企業の水質浄化の実験などの場として活用します。これにより、これまでの「京浜の森」づくりの取組を「京浜の森と海」づくりへと展開し、京浜臨海部の再生のモデルにつなげます。